



43

神龍呈瑞

中川義實ほか

1組

明治33年(1900)

(像)彫金、銀、金、赤銅、四分一 (台)蒔絵

(像)33.0×74.0×71.5 (台)45.0×84.0×23.0

三の丸尚蔵館

龍の口より吹き出された瑞雲から絢爛豪華な楼閣が出現する様を、精緻な彫金の細工により表わした置物。銀製の龍本体を中川義實(1859～1915)、台は錦の図案を前田香雪、蒔絵と螺鈿を六角紫水(1867～1950)、金具を岡部覺彌(1873～1918)が担当した。皇太子御成婚に際して内務省高等官一同より献上された。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

明治の御慶事 — 皇室の近代事始めとその歩み

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 80

編集 宮内庁書陵部

宮内庁三の丸尚蔵館

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

制作 艸藝社

平成三十年四月二十八日発行

© 2018

The Archives and Mausolea Department
The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan
Imperial Household Agency